

新潟県防犯設備協会の紹介



新潟県防犯設備協会 会長 皆川 光司

新型コロナウイルスの影響も落ち着きを見せ始め、地域観光業もようやく営業再開の兆しを見せる中、外国人観光客の誘致についても再開となりそうな昨今、我々の新潟県にもようやく防犯設備協会を設立することができました。

全国皆様のほとんどの地域におかれましては、すでに設立され、様々なイベント事業、ボランティア活動、警察様と連携した防犯設備、意識の啓発活動等行われているかと存じます。

遅ればせながら、全国47都道府県のうち43番目という後手な状況にて設立した「新潟県防犯設備協会」は会員数23名にて令和4年2月28日に無事設立となりました。



設立に向けたスタートは2019年の11月頃に6名（5社1個人）が発起人となり、日本防犯設備協会様のご協力の元、設立に向けた会議を始めました。以降何度か会議を重ね、2020年の3月末には立ち上げたいと行動し、新潟県警察本部様にも2020年1月に表敬訪問、協会設立の設立趣意書を提出させていただくところまでは進み、あとは設立に向け、会員数の増加に向けた会員募集活動を行っていました。

そのような状況の中、新型コロナウイルスの猛威により、面会が厳しい状況となり、会員の募集活動も低迷、会議についてもなかなか行うことができずに、やむなく設立を延期という事態に陥ってしまいました。

しかし、コロナウイルスが蔓延しようと、いつもまでもズルズルと設立を先延ばしにしてばかりもいられません。

そこで、少しだけ落ち着いた2021年4月より再度設立に向けリスタートし今日に至りました。

設立の遅さからも察することができますように、新潟県民は基本的に温厚でのんびり屋さんなのかなと思われます（勝手な想像です）。田舎のほうへ行くと、いまだに玄関の鍵が施錠されておらず、郵便物や宅配便が玄関内に置いてあるような状況のところもあります。

かといって、犯罪率に関しては全国的に見ても決して低いわけではなく、47都道府県中20位前後になります。これは、重犯罪においても同様で全国のワースト順位中程で推移しております。

しかも、本協会の設立のきっかけの一端ともなりました、新潟市西区の女児殺人事件のような大変痛ましい事件も起こってしまいました。

設立してまだ1年も経過していない協会ですので、活動実績のご報告には至りませんが今後の活動目標と致しましては

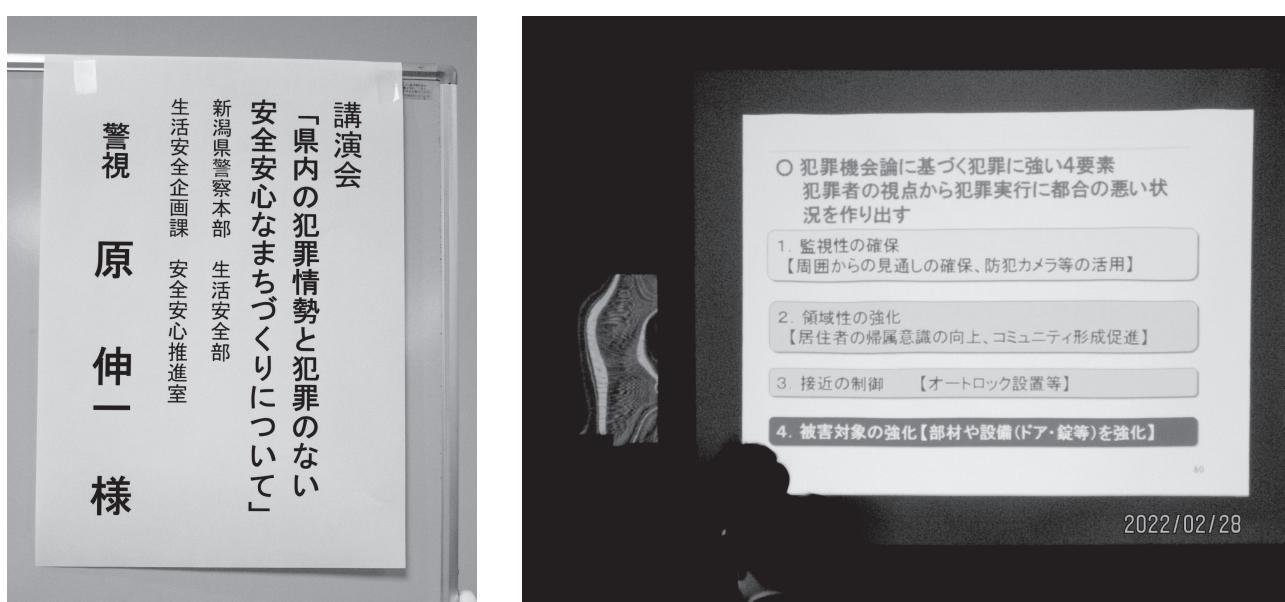
- ・更なる新規会員の募集（他業種に渡り、安全安心なまちづくりに賛同いただける方）
- ・防犯設備士資格取得試験の受験者の促進
- ・県警察本部または地域警察署と連携した防犯設備設置等の啓発活動
- ・各市町村の生活安全課等との連携による防犯設備出前講座
- ・街頭防犯カメラ設置等に対する各市町村等への更なる補助金制度設置の必要性アピール活動
- ・各種防犯設備機器導入に向けた補助金・助成金制度設置の必要性アピール活動

等、会員みんなで考え、実践していきたく思います。

また、その際には各地域防犯設備協会の諸先輩方からも色々とご意見をお伺いし、取り組んでいこうと思っております。

まずは本協会の趣旨に賛同していただける方々の勧誘による会員数増員から着実に進んでいく所存でございます。

皆様方のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。



講演会の様子